

## 第4回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

### 【1】開催

日 時：平成25年2月28日（木）午前10時45分～午前11時20分  
場 所：稲毛保健福祉センター 3階 大会議室  
出席者：委員定数 30人  
出席委員数 20人  
事務局 9人 オブザーバー 1人

### 【2】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 報告事項
  - (1) 地域福祉計画に係る実践状況について
  - (2) 各分科会の検討内容について
    - ア 第1分科会「ボランティアの人材育成」について
    - イ 第2分科会「安心カードの作成と活用」について
- 4 協議事項
  - 平成25年度の重点取組項目について
- 5 その他
  - (1) 広報紙「支え合いのまち 稲毛（案）」について
  - (2) 平成25年度第1回開催時期について
- 6 閉会

### 【3】議事要旨及び発言要旨

#### 3 報告事項

##### (1) 地域福祉計画に係る実践状況について

高齢障害支援課 鈴木係長より資料1「第2期稲毛区地域福祉計画の実践状況」を用いて説明。

主な説明内容は以下のとおり。

- (鈴木係長)・ボランティアの人材育成について、平成23年度の実践事例は1団体でしたが、24年度はボランティア講座、地域行事・地区部会行事等でのボランティア参加の呼び掛けの2事業で10団体が新たに取り組みました。
- ・安心カードの作成と活用について、平成23年度の実践事例は11団体でしたが、今年度は8団体が新たに取り組みました。

- ・分科会で作成した重点取組項目事業一覧表では、ボランティアの人材育成については25年度に1地区部会、あんしんカードの作成と活用については2地区部会が取り組む予定となっており、また1地区部会が取り組みを検討することとなっています。
- ・委員各位におかれましては、引き続き重点取組項目等への実践状況について、情報提供願います。

## (2) 各分科会の検討内容について

第1分科会「ボランティアの人材育成について」を島田委員、第2分科会「安心カードの作成と活用について」を瓜生委員から、各分科会での検討内容について説明。

主な説明内容は以下のとおり。

### ア 第1分科会「ボランティアの人材育成」について

- (島田委員)・地域での活動は、町内自治会（以下「自治会」という。）が自治会単位で主体的に動いているので、今後も地区部会とは緩やかな関係でありたいとの意見がありました。
- ・地域の活動で人手が欲しいときは、その都度声掛けし、人を集めている事例があり、地元の文化でもあるお祭りなどの開催時にも問題なく人を集められているという報告がありました。
  - ・「ボランティア」という言葉表現が、人によっては押し付けられていると受け取られてしまうことがあるため、「一緒に協力していきましょう」との柔らかい表現で呼び掛けることも必要ではないかとの意見がありました。
  - ・一度引き受けるとなかなか後任が見つからず、継続せざるを得ないケースがあるようで、最終的には個人的に声を掛け、引き受けて頂いており、後ろ向きなバトンタッチになっている現状がある旨、報告がありました。
  - ・通年に渡る地区部会行事を進めていくために必要な関係機関、例えば学校やPTA、地域保健推進員等にも活動に関わって頂いているので、今、特にボランティアが必要ということはないという意見もありました。
  - ・長くボランティア活動をしている方は多くの人と関わっているため、人手が必要な時にお願いをするとすぐに集めて下さり、長い時間の中で人材育成がなされていると感じる事例報告がありました。また、そのことが地域のベースとなっているとの話がありました。
  - ・ボランティアという役割については違和感を感じており、本来の向こう三軒両隣、隣人同士が助け合う関係ができているため、ボランティアを必要としないという意見もありました。
  - ・防災訓練を通じて、若い方へも自主的に参加し、手伝って頂いている事例報告がありました。

- ・ボランティアの人材確保は地域によって様ではなく、満ち足りている地域もあれば、頼れる人がいない地域もあります。活動の軸となるボランティアの方は、今後もつないでいかなければならない中、前述のような意見交換、事例報告がありました。

## イ 第2分科会「安心カードの作成と活用」について

- (瓜生委員)・今後も継続して「安心カードの作成と活用」に取り組むための方策を考える中で、特に住民と密接な関わりをもっている町内自治会に主導していただくためには、どのような協力体制が必要なのかを中心に考え、意見交換しました。
- ・町内自治会によりバラつきはありますが、1年ごとに会長が替わることが協力体制構築のネックになっているのではないかと、との意見がありました。
  - ・主導者となる人のけん引力によって、違いも出てくるのではないかととの意見があり、確たるビジョンを持つこと、マニュアル化することも必要ではないかととの意見がありました。
  - ・町内自治会によって世代構成も様々であり、若年世代ばかりが中心であったり、高齢化が進んでいるところもあったりすることも、取り組みが進まない原因の一つではないかととの意見がありました。
  - ・「安心カードの作成と活用」を進めるには、あんしん登録カード（管理する人を決め、決まった場所に保管する方法）と自己管理する救急キット（カプセルに入れ、主に冷蔵庫や玄関先においておく方法）の両方を同時に進めていったら良いのではないかととの意見がありました。
  - ・また、取り組みを進めるには住民一人ひとりが問題意識を共有化すること、実施、未実施のバラつきを埋めるため、経験交流を進めていくなどの方策を取ったうえで、急に進めるのは無理なので、徐々に広がっていったら良いのではないかととの意見がありました。

### <質疑応答>

- (委員) あんしんカードの登録というのは、どのように進めていけばよいのですか。
- (瓜生委員) 安心カードを誰が管理するかを決め、何かの時には役立てる方式です。これは、UR都市機構と町内自治会が連携を図って取り組んでいる千草台団地、草野団地の例で、登録してくださる方がいて初めて成立する方式で、個人情報への心配もあることから、全員が登録とはなっていません。
- (委員) あんしんカードのあり方は、誰かに何かがあった時、誰でも見れるという条件だったと思うんです。1か所に集約されているという今の説明は、あり方に矛盾があると思うのですが。
- (瓜生委員) 1か所ではなく、2・3か所でも、皆さんが決めれば良いのです。また、自己管理方式の救急キットは、施錠されていけば家の中に入って見に行けないリスクがあることから、あんしん登録カードと救急キットの両方に取り組む

ことで双方のリスクを補えれば良いのではないかと、思います。

(委員長) 各分科会の書記の方は、本日の内容を取りまとめ、来月末までに事務局へご提出願います。各委員におかれましても、本日の内容を役員会等においてご説明頂き、事業推進ができるよう前向きな協議をお願いします。

## 5 協議事項

### 平成25年度の重点取組項目について

高齢障害支援課 鈴木係長より、資料2「平成25年度の重点取組項目について」の「活動の中核となれる人材の発掘」「災害時に対応した地域住民の研鑽を図る」の選択理由について、説明。

主な説明内容は以下のとおり。

(鈴木係長) 25年度に取り組む新たな重点取組項目(案)として、1つ目は「活動の中核となれる人材の発掘」、2つ目として「災害時に対応した地域住民の研鑽を図る」をあげさせていただきます。この2項目の選択理由として、今年度に取り組んだ2項目「ボランティアの人材育成」「安心カードの作成と活用」と基本方針や施策の方向性が同じであり、関連性があることから選ばせて頂きました。なお、次年度の分科会の割振りですが、関連性を考慮し、「活動の中核となれる人材の発掘」を第1分科会の方々に、「災害時に対応した地域住民の研鑽を図る」を第2分科会の方々にそれぞれ取り組んでいただきたいと思います。なお、変更を希望される方は、事務局までご連絡願います。

## 6 その他

### (1) 広報紙「支え合いのまち 稲毛(案)」について

千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所 高橋担当より、広報委員会開催状況、編集工程、掲載内容等の報告、並びに配付資料「支え合いのまち 稲毛 No.14(稲毛区地域福祉計画推進協議会だより(案))」について説明。

主な説明内容は以下のとおり。

(高橋担当) 表紙には、新たな愛称となった「支え合いのまち 稲毛」の報告、及び第3・4回目の開催報告を掲載します。2～3ページ目は、推進協だより掲載依頼書のご提出のあった地区部会を取材させて頂き、活動実践事例の紹介、4ページ目は、今年度取り組んでいる重点取組項目「安心カードの作成と活用」に伴うカードや保管方法の紹介を掲載しています。

## (2) 平成25年度第1回開催時期について

高齢障害支援課 鈴木係長より、平成25年度第1回開催時期について説明。

主な説明内容は以下のとおり。

(鈴木係長) 平成25年度第1回目の開催日(案)ですが、6月25日(火)の午前中の開催を考えていますが、如何でしょうか。また、本会議の前段として今年度と同様に各分科会を開催したいと思います。宜しいでしょうか。

(委員長) 只今の説明のとおりで開催で、皆さん宜しいですか。宜しければ拍手願います。

(委員) 一同拍手

(委員長) 決定とします。有り難うございました。事務局へ戻します。

(事務局) 先ほど委員長からも話がありましたが、各委員におかれましても、本日の各分科会及び本会議の内容を役員会等においてご説明いただき、事業推進ができるよう協議をお願いします。また、来年度より新たに取り組む2つの重点項目も本日承認されましたので、今後の事業推進に向けて宜しく願いいたします。なお、分科会でも説明しましたが、事業実施に伴うアンケート調査を考えていますので、その時にはご協力願います。

次回の平成25年度第1回目の区推進協議会は6月25日(火)の午前中の開催で決定。事務局が閉会を宣し、第4回稲毛区地域福祉計画推進協議会は散会。